

令和7年度富山県内の市町村普通会計決算の状況(速報)

1. 決算規模と歳入歳出の概要

歳入総額 5,909億09百万円（対前年度比+403億72百万円）

歳出総額 5,690億94百万円（対前年度比+399億34百万円）

投資的経費の大幅な増額などから昨年度より総額が増加

歳入

(1) 歳入概要 5,909億09百万円（R⑥5,505億37百万円、+7.3%）

【市町村税】 1,836億09百万円（R⑥1,729億47百万円、+6.2%）

〔市町村民税（法人）〕 172億61百万円（R⑥ 152億67百万円、+13.1%）

〔市町村民税（個人）〕 623億98百万円（R⑥ 549億27百万円、+13.6%）

〔固定資産税〕 848億12百万円（R⑥ 836億38百万円、+ 1.4%）

【地方交付税】 1,127億85百万円（R⑥1,095億11百万円、+ 3.0%）

【国庫支出金】 928億42百万円（R⑥ 813億11百万円、+14.2%）

○歳入の推移は次頁「一般財源、特定財源の推移」のとおり

歳出

(2) 歳出概要 5,690億94百万円（R⑥5,291億60百万円、+ 7.5%）

【義務的経費（人件費、扶助費及び公債費）】

2,488億37百万円（R⑥2,418億74百万円、+ 2.9%）

〔人件費〕 801億45百万円（R⑥ 766億69百万円、+ 4.5%）

〔扶助費〕 1,080億70百万円（R⑥1,057億80百万円、+ 2.2%）

〔公債費〕 606億22百万円（R⑥ 594億25百万円、+ 2.0%）

※ 端数処理により義務的経費計と内訳が一致しないことがある

【投資的経費（普通建設事業費及び災害復旧事業費）】

846億53百万円（R⑥ 635億63百万円、+33.2%）

○歳出の推移は次頁「性質別歳出の推移」のとおり

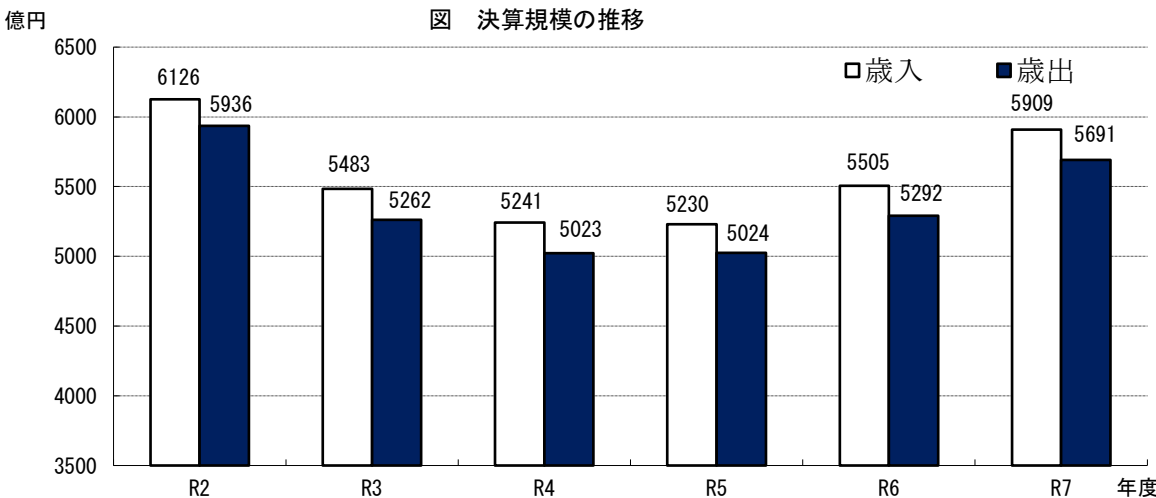


図 一般財源、特定財源の推移

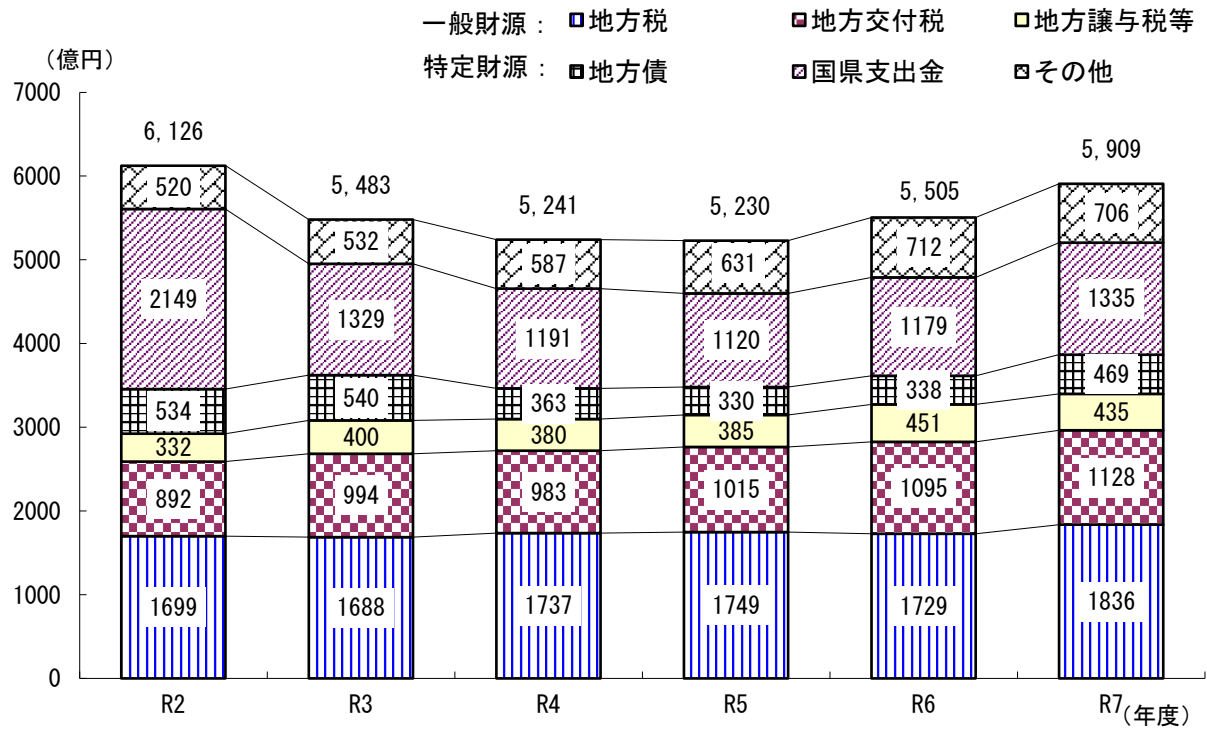
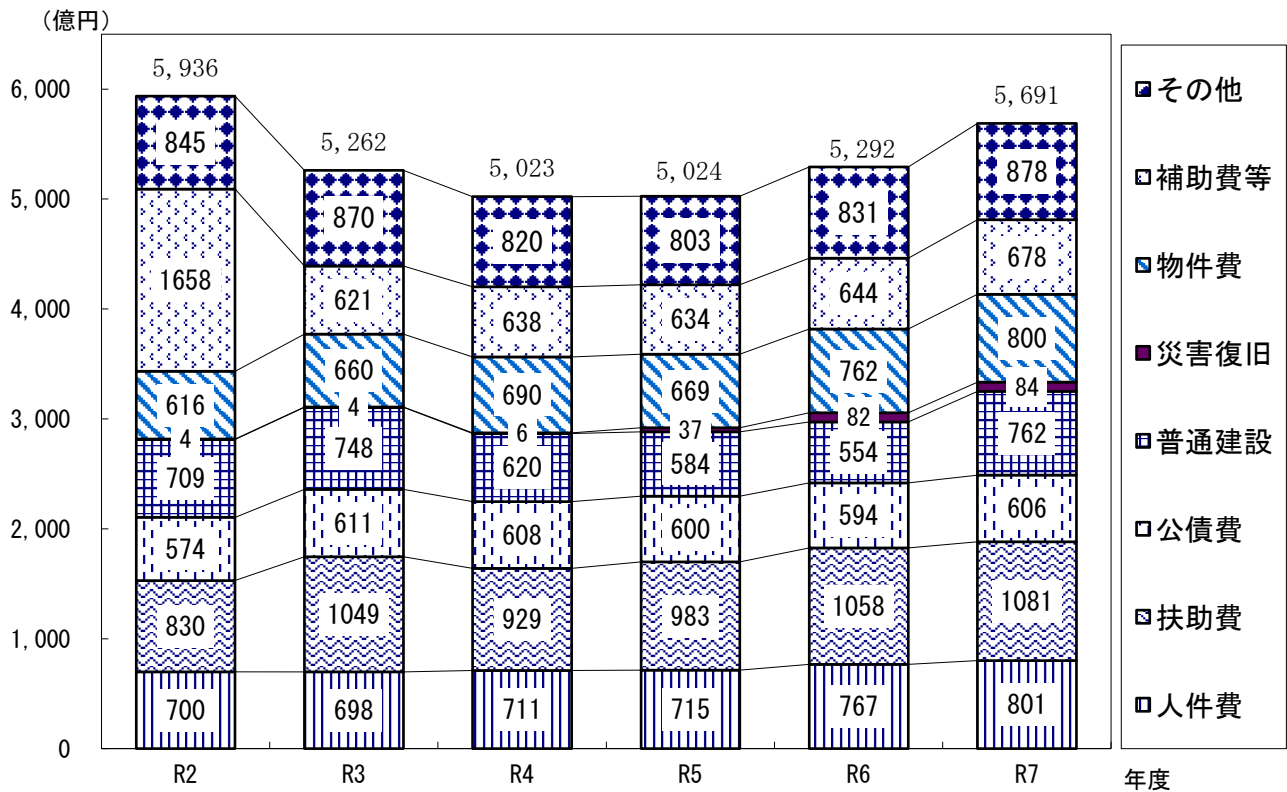


図 性質別歳出の推移



2. 決算収支の状況

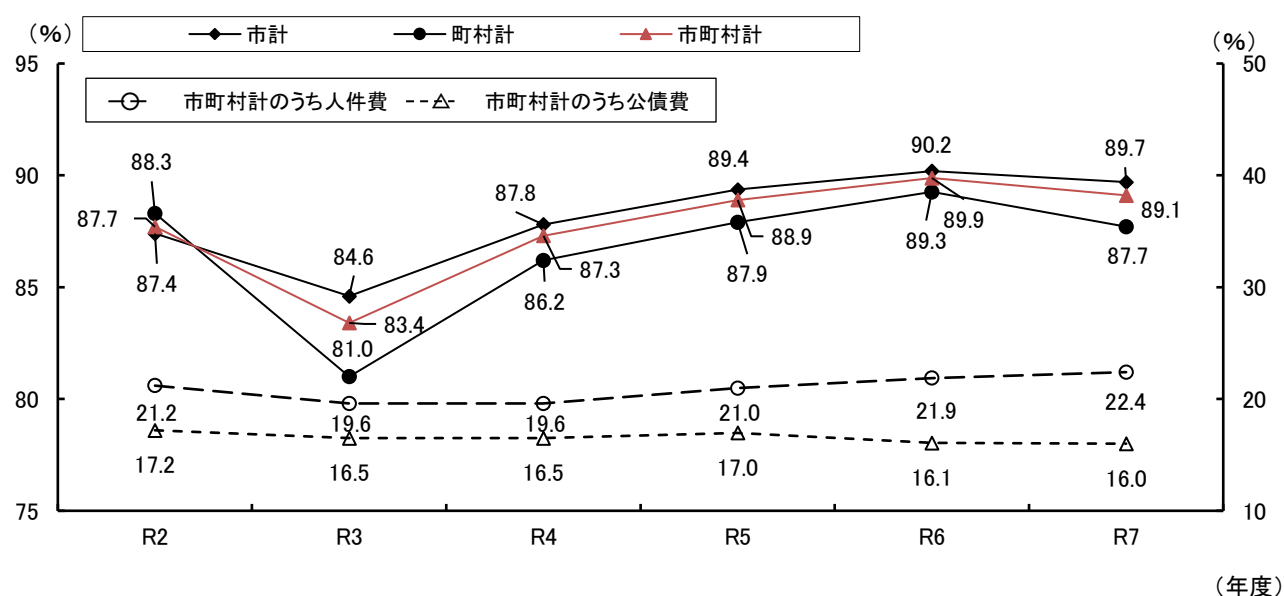
- (1) 形式収支 218億16百万円 (R⑥ 213億77百万円、+2.0%)
(2) 実質収支 156億23百万円 (R⑥ 163億68百万円、▲4.6%)

※ いずれも全団体が黒字

- 〔 ・ 単年度収支 ▲7億46百万円 (R⑥ 5億05百万円、-%)
・ 実質単年度収支 33億52百万円 (R⑥ 13億21百万円、153.8%) 〕

3. 財政構造の弾力性

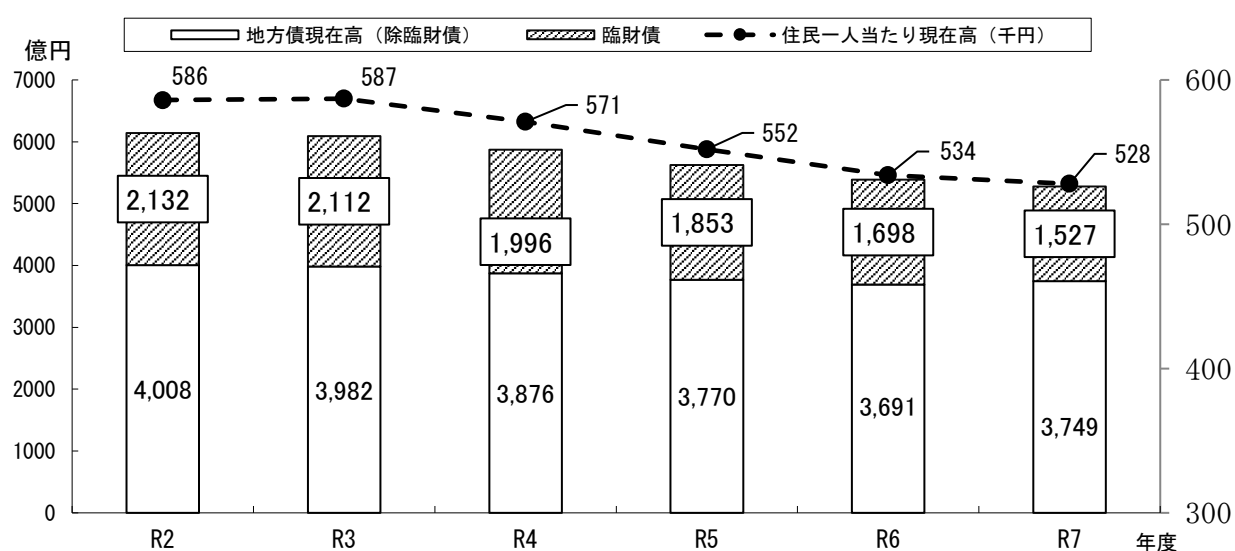
- (1) 経常収支比率は、89.1%（単純平均）（R⑥89.9%、▲0.8ポイント）
 (2) 11団体において経常収支比率が低下



4. 将来にわたる財政運営

- (1) 地方債残高
 5,276億23百万円（R⑥5,388億86百万円、▲112億63百万円、▲2.1%）
 ・ 10年連続で減少
 ・ うち臨時財政対策債を除く地方債残高は
 3,748億82百万円（R⑥3,690億96百万円、+57億86百万円、+1.6%）
- (2) 積立金現在高
 1,354億24百万円（R⑥1,303億94百万円、+50億30百万円、+3.9%）
- (3) 地方債残高に債務負担行為額を加え、積立金現在高を差し引いた額
 4,885億68百万円（R⑥5,069億81百万円、▲184億13百万円、▲3.6%）

図 地方債現在高の推移



※算定基礎となる住民人口は各年度1月1日現在の住基台帳人口による